

# 授業改善アンケート

## 01 授業改善アンケートとは

「この授業、わかりにくいな」「こうすればもっと面白くなるのに」——そんな感想や意見をもったことはありませんか。

学生の皆さんの声を大学のFD活動に生かすため、法政大学では2004年度から原則としてすべての学部・学科、大学院(博士後期課程は非実施)で「学生による授業評価アンケート」を実施してきました。さらに2009年度からは「学生による授業改善アンケート」と名称を改め、段階評価中心の質問項目に代えて、より具体的な質問項目や自由記述欄を多く含むアンケートを実施してきました。実施方法については、学生の皆さんが責任をもって回答できるよう、記名式になっています。

2014年度秋学期からは、Webシステムでの実施に切り替え、実施期間中はいつでもどこでも、インターネットを介して授業改善アンケートに回答できるようになりました。

## 02 アンケートの集計と分析

それでは、皆さんに回答していただいたアンケートは、その後どうなるのでしょうか。

アンケートは、授業ごとに集計され、教員はWebより結果を確認しています。学生の氏名や学生証番号は教員には表示されませんので、授業改善のために、どうぞ忌憚のない意見を入力してください。成績評価に影響することはありません。

## 03 アンケートの活用と成果

「私の記入したアンケート回答は、何かの役に立ってるの?」そう思った人もいるのではないのでしょうか。

各学部や学科、研究科では、アンケートの結果を授業改善に生かすために、さまざまな取り組みを行っています。また、シラバスには授業改善アンケートによる気づきの欄も設けられており、授業の担当教員がどのような改善の努力を行っているかが分かるようになっています。



### 授業改善アンケートのチェックポイント

- アンケートの結果は、授業改善の組織的な取り組みのためのデータとして活用されます。授業改善に寄与するという自負をもって正確かつ責任ある回答を心がけましょう。
- 自由記述欄に書かれた皆さんの意見や感想は、氏名や学生証番号は判らない形でそのまま担当教員に届きます。皆さんの意見や感想が授業改善に役立つよう、具体的な記述を心がけるとともに、読み手に不快感を与えるような表現や内容は慎みましょう。

## 04 あなたの声を授業改善に

FD活動には、教員ばかりでなく、職員、学生の三者が問題意識を共有し、相互に意見交換をしながら組織的な活動を進めていく必要があります。なかでも実際に授業に参加している皆さんの感想や意見は、教員に多くの「気づき」を与えるばかりでなく、大学全体の教育のあり方を考えるうえでも重要な手がかりを与えてくれます。改善点だけでなく、授業の良かった点や興味深かった点なども、是非聴かせてください。

授業改善アンケートを通じて、あなたの声を本学のFD活動に生かしてください。

法政ポータルサイト(Hoppii)→【授業改善アンケート】にアクセスしてください。



学生の声を  
教員に直接伝えること  
ができる  
貴重な機会だね。



ただ受講するだけでなく  
自分自身も  
授業を作っている  
という気持ち  
大切だね。



文学部心理学科・人文科学研究科心理学専攻では、各教員がアンケートから得た「気づき」を文章化し、学生がよく利用する実習室わきに掲示して改善点を公開しています。



### FDってなに？

FDとは、Faculty Developmentの略語で、大学などの教育機関が教育の質を向上するために行っている取り組みをいいます。本学では、「自由と進歩」の建学の精神に基づく教育理念と教育目標を達成するためになされる、教育および学びの質の向上を目的とした教員・職員・学生による組織的・継続的な取り組み」とFDを定義し、様々な活動を展開しています。詳細は、教育開発・学習支援センターのホームページよりご確認ください。

(法政ポータルサイト(Hoppii)→【教育開発・学習支援センター】にアクセス)

